

爽やか100% 木山中体育大会

晴天の5月20日(土)に、第67回木山中学校体育大会を開催することができました。町長様、副町長様をはじめ、50名を超える来賓の皆様、地域の皆様が参観される中、249名の生徒たちは、どの競技にも最大限のパワーを出し切り、感動ある体育大会をつくりあげてくれました。優勝した白団団長……くんはもちろん、赤団団長……くんも青団団長……くんも、素晴らしいリーダーシップを見せてくれました。この3年生集団がいれば、木山中学校は学習面でも体育面でも、そして仲間づくりでも大丈夫であると確信させてもらいました。

1年生は2クラスを3つの団に分けたため、クラスの団結という点では、少し物足りなかったかもしれませんが、ボール渡し・瀬渡しの「やっぞRevolution2017」や全員リレーなど、中学校初めての体育大会を楽しんでいました。また、2年生は、全員リレーでの雪辱を「台風の目」で果たした3組の喜ぶ姿(担任も含め)が印象的でしたが、2年生も精一杯の力を出しきり、思い出深い体育大会になったのではないのでしょうか。また一つ、木山中学校の復興への一歩となりましたが、1年生・2年生は、3年生の先輩の後姿から、協力、やりぬく力等をしっかり学び取って、更に進化した木山中学校をつくってほしいと思います。

保護者の皆様も、朝早くからのご参観、応援、ありがとうございます。今後も、生徒の健全育成のため、職員一同精一杯頑張っていきますので、ご協力、ご支援をよろしくお願いたします。



レーナ・マリアさんから学ぶ

29日に、スウェーデンから木山中学校に皆さんを励ますためにレーナ・マリアさんが来校されました。レーナさんは、生まれたとき両腕がなく、片方の足は半分の長さしかありませんでした。しかし、ご両親のとても深い愛情のもと、地元の学校に通い学び続け、水泳のアスリートとしてソウルパラリンピックで活躍し、ミュージシャンとして長野パラリンピック開会式で歌われたり、口と足で描くアーティストとしても活躍され、現在は、スウェーデンでテレビ出演や執筆活動、講演活動など多岐に渡り活躍を続けていらっしゃいます。さて、木山中学校でのコンサートから、生徒の皆さんは、どんな元気をもらえたでしょうか。コンサート終了後に一人一人感想文を書いてもらいました。まだ全部は見えていませんが、「頑張らなくてはい」という思いになった人が多くいました。



人は時間がない、才能がない、面白くないと、「ない」ものに目を向けてしまいます。でも一人一人授かったものがそれぞれ違います。授かってないものに目を向けず、授かったものを掘り起こす努力をすることが大切ではないかと、レーナさんはおっしゃっています。

今回のコンサートやレーナさんの言葉から、熊本地震で失ったものも多いですが、今あるものに目を向け、益城町の復興に向け進んでいければと思います。

過信は禁物！ 自転車運転

5月に入って、登下校時の自転車での事故が続きました。自分の命が大切であること一番に考え、交通ルールを守って、安全運転に徹してほしいと思います。相手のいる事故もありましたので、「だろう」運転にも気をつけてください。「安全」を必ず確認することが安全運転のコツです。ご家庭でもご指導よろしくお願いたします。

車での送迎時には注意を！

前に、登校時の挨拶のすばらしさを書きましたが、今回はお願いを一つします。それは北側の通用門でのことです。車で登校してきた生徒が、右側のドアから降り、ヒヤヒヤ、ドキドキしてしまうことです。必ず左側のドアから降りるようにお願いします。右側から降りると、後方から来た車と接触するおそれがあります。安全確認をしているとは思いますが、さらに安全な乗り降りをお願いします。横断歩道を必ず渡ることもご指導を！